

ともかわさき News

第15号 令和8年3月発行

1996～社会福祉法人ともかわさき30年～2026

<アトリエひらま with はなうた図工室>

2月のアトリエひらまは、はなうた図工室の永池講師を迎えての特別回となりました。

ビー玉を転がしながら色鉛筆で重ね塗りをする制作に皆さん夢中になり、個性あふれる作品がたくさん誕生しました。

共同制作では色の道をつなぎ、子どもも大人も心を合わせるあたたかな時間となりました。



<ダンス教室>

今年も早くも見学希望のご連絡をいただいております。さまざまなイベントに参加させていただく中で、私たちの活動が少しずつ広がり、多くの方に知っていただけるようになってきたことを実感しています。

本年も引き続き地域のイベントへ積極的に参加し、活動の発信を続けてまいります。そして、地域の皆さまとともに、インクルーシブな社会の実現に向けて取り組んでまいります。



<ひらま菜園>

冬の時期は畑でできる作業が限られ、どうしても雑草取りや清掃が中心となってしまいます。せっかくお越しいただくボランティアのみなさんに、もっと楽しんで参加していただけるよう、現在、新しい冬季活動のアイデアを模索しています。季節に合わせた工夫を取り入れながら、年間を通して充実した菜園事業になるよう取り組んでいきます。



<Colors かわさき巡回展 in gallery FLAT>

武蔵小杉の「gallery FLAT」で開催中の「Colors かわさき 2026 巡回展」を訪れました。

新築の香りが漂う明るい会場には、選りすぐりのアーティスト 21 名の作品と、田島支援学校の生徒たちによる「廃棄シーツキャンパスアート」が展示されています。廃棄物に新たな命を吹き込む瑞々しい感性に、深い感銘を受けました。



<第59回かわさき市美術展：入選作品展>

第59回かわさき市美術展の入選作品展を見学してきました。

絵画、書道、立体造形、写真など、さまざまなジャンルの作品が並び、どれも引き込まれるような魅力がありました。ひとつひとつの作品から、作者の想いや独自の視点が伝わってきて、とても良い刺激になりました。

3月には“入賞作品展”も開催されるとのことなので、そちらも楽しみにしています ✨



<パラアート作品常設展示 in 川崎市青少年の家>

川崎市青少年の家で実施されているパラアート常設展示を見学してきました。

現在は、「かじがや障害者デイサービスセンター」の絵画作品が展示されています。

和紙の上に広がる鮮やかな幾何学模様は、力強さの中にどこか温かみがあり、見ていると心がほっと和む作品ばかりでした。



<夢花ARTWORK 2026展>

2月14日（土）になごみ福祉会夢花工房ぽばい主催のアート展に伺いました。

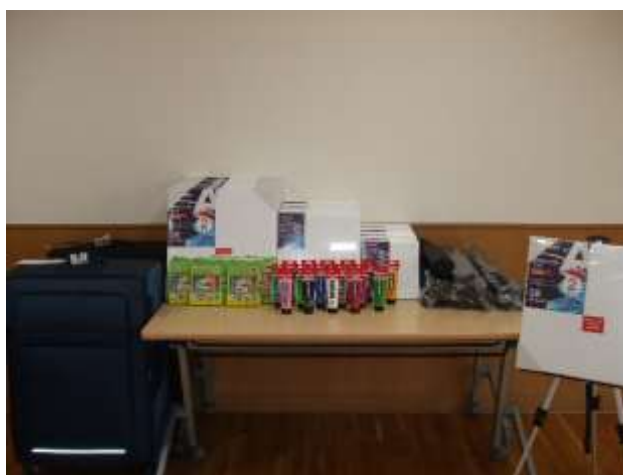
昨年と会場が変更していましたが、小さな作品を500円で頒布していました。



<24 時間テレビ 48「障がい者アート支援」寄付プログラム>

神奈川県障害者芸術文化活動支援センター様から推薦をいただき申請していた「障がい者アートプログラム」に「ともかわさきのパラアート」が採択されました。これは、全国の障害児・者による芸術文化活動を支援するため、24 時間テレビ 48「アートオークション」の収益を、全国の障害者の芸術文化活動や表現活動を推進する事業者へ、活動の実施や継続のために必要な物品等の購入費として寄付するプログラムで15万円相当の寄附をいただけます。

いろいろと購入してしまいました。



キャリーバッグ・キャンパス・画材・イーゼル

<ともかわさき送迎車更新進行中>

ともかわさきでは、事業所の送迎車の更新を進めています。特別な仕様の車両の為にすぐには買換えがきかないこともあり、定期的な更新と随時の更新を併せて行っています。送迎車は結構高いよ。大事に使いましょう。

<ともかわさき事業所整備進行中>

ともかわさきの事業所における環境整備のため計画的に進めています事業所の改善整備事業ですが、今年度の生活介護事業所「ちとせ」の外壁、屋根の整備工事、エアコン改装工事、事業所内装改修工事が完了しました。利用者の方々が快適な環境で過ごせるだけでなく、職員の皆さんにも快適な仕事環境をと思っています。今年度はさらに「たちばな」の内装改修工事や「なしの実」の空調改装工事を進めています。

<ともかわさき30年記念事業進行中>

ともかわさき30年を記念するアート図柄のマグカップ制作を進めています。お楽しみに。